

救急医療体制検討特別委員会

(令和4年度)

救急医療体制検討特別委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 救急医療体制検討特別委員会

委員長 志馬 伸朗

I. 委員会の開催

2022年度は2回の委員会を開催した。

- ・第1回令和4年4月28日(木)
- ・第2回令和5年3月22日(水)

II. 調査研究の内容

1) 救急医療情報ネットワーク(救急・搬送支援システム)について

現行システムの運用を現契約期間終了時の令和5年9月末までとし、次期システムの更新に向けて実証実験を実施することを決めた。実証実験は令和5年10月から令和7年9月までの2年間を期間とする。実証実験のためのWGを立ち上げ、具体的実験検証を行うことを決め、取り組みを進めている。

実証実験を行うにあたり、県内に14種類あった傷病者送り票(プレホスピタルレコード)を県内統一の様式に統合した。二次・三次救急医療機関(救急告示病院・病院群輪番制参加医療機関)を対象に実証実験への参加の意向調査を実施し、65機関から参加の申し出があった。

また、個人情報を含む傷病者送り票の取り扱いについては、個人情報保護法適用下でのシステムの使用について、個人情報保護委員会に照会し、法的整理と必要な手続きについて確認した。

2) 第8次広島県保健医療計画(救急医療)の策定について

第7次広島県保健医療計画(計画期間:平成30年度~令和5年度)の計画期間が令和5年度末で終了することから、次期の第8次広島県保健医療計画(計画期間:令和6年度~令和11年度)の策定に向け、検討を行った。計画策定にあたる主な検討項目として、令和5年3月末頃に示される国の基本指針等に基づき、初期救急医療機関、第二次救急医療機関、第三次救急医療機関の役割の明確化、高次の医療機関からの転院転送の促進、救急医療用ヘリコプターの効率的な活用のための広域連携体制の構築、ドクターカー導入拡大検討などを挙げた。第7次広島県保健医療計画における各課題等の検証結果を踏まえ、項目を整理する。

広島県地域保健対策協議会 救急医療体制検討特別委員会

委員長 志馬 伸朗 広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学
委員 有馬 博之 広島県危機管理監消防保安課
板本 敏行 県立広島病院
岩崎 泰昌 呉医療センター・中国がんセンター
上野 宏泰 尾道市医師会
大下慎一郎 広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学
大田 泰正 脳神経センター大田記念病院
岡野 博史 広島赤十字・原爆病院
岡本 志朗 呉共済病院
楠 真二 県立広島病院
久保 達彦 広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学
先本 秀人 呉市医師会
貞森 裕 福山市民病院
嶋谷 邦彦 広島西医療センター
鈴木 慶 広島市立北部医療センター安佐市民病院
住居晃太郎 安芸地区医師会
田中 幸一 市立三次中央病院
玉木 正治 広島県医師会
遠山 郁也 広島市健康福祉局保健部医療政策課
内藤 博司 広島市立広島市民病院
中川 五男 中国労災病院
中田 徹 広島県消防長会
中村 裕二 庄原赤十字病院
西田 翼 広島大学病院危機医療センター
西野 繁樹 広島県医師会
浜田 史洋 日本鋼管福山病院
平川 治男 広島県医師会
藤原恒太郎 興生総合病院
前田 正人 三原赤十字病院
増井 博文 広島県健康福祉局健康危機管理課
宮阪 英 福山市医師会
村田 裕彦 広島共立病院
森島 信行 JA尾道総合病院
森田 悟 東広島医療センター
吉田 研一 JA広島総合病院
三原 直樹 広島大学病院医療情報部